



「国際センターだより」では、土木学会の国際活動の一端を紹介しています。国際センターが毎月発行している「国際センター通信」と合わせてぜひご一読ください。

### News Pick Up !!

#### 地震工学委員会がジョイントセミナーを開催

「1st NZ-Japan Joint Symposium on Structural and Geotechnical Earthquake Engineering : ISO-23469」が2018年11月27日に土木学会、カンタベリー大学、米国土木学会の共催で開催された。

日本からは本田利器教授（東京大学）、一井康二教授（関西大学）、後藤浩之准教授（京大防災研）、羽場一基氏（大成建設（株））、吉見雅行氏（産総研）が講演者として参加した。

本ジョイントセミナーは日本が率先して2005年に策定したISO規格（ISO23469）の周知および発展を目的に開催された。会場であるカンタベリー大学工学部本館（ニュージーランド、クライストチャーチ）にはシンポジウム開催日27日におよそ100名が参集したほか、翌28日にはクライストチャーチ地震



セミナー参加者たち

の被災地見学会が行われた。

詳しい報告については国際センター通信をご覧ください。

#### 第13回世界で活躍する土木技術者シンポジウムの開催

国際センター・プロジェクトグループ主催「世界で活躍する土木技術者シリーズ」第13回シンポジウムが2018年12月18日（火）に土木会館講堂にて開催された。参加者数は延べ76名であった。

今回は「シンガポールの地下鉄事業と地下鉄トムソンイーストコーストラインT228工区の建設」をテーマとし、西松建設（株）がシンガポールでの地下鉄事業について紹介を行った。

講演では工事概要、技術的な課題と対応、現場での工夫などが動画を用いてわかりやすく説明された。若手技術者の海外業務報告については、海外と日本の現場との安全意識の違いなど、経験者ならではの報告があった。

なお、プロジェクトグループは本年度も「世界で活躍する土木技術者シリーズ」シンポジウムの開催準備をしている。次回もぜひご参加いただきたい。

#### 都内で初の留学生向け現場見学会を開催

国際センター・留学生グループ主催の「留学生向け現場見学会」が2019年2月25日（月）に開催された。関東近郊の大学より21名の留学生が参加した。

留学生グループでは隔年に関西圏での現場見学会を開催しているが、今回は初の都内での開催となった。見学先は東日本旅客鉄道（株）にご協力いただき、埼京線ホームを山手線ホームへの並列化工事を中心とした「渋谷駅改良工事」現場を見学した。

参加留学生は大都市東京の制限された施工環境・条件を興味深く見学していた。

詳しい報告については国際センター通信をご覧ください。



都内で初開催となった現場見学会

### Event Calendar

国際センターが企画するイベント（行事）については、以下のURLでアクセスし、「イベント情報&開催報告」をご覧ください。

<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/>

土木学会国際センター

検索

News Pick Up !! と Event Calendar の詳細は、毎月発行の「国際センター通信」をご覧ください。

「国際センター通信」は下記の学会ホームページ（日本語版・英語版）からもアクセスできます。また、メール配信を希望される方は、国際センター事務局までメールにてお申し込みください。

※国際センター事務局 e-mail : [iac-news@jsce.or.jp](mailto:iac-news@jsce.or.jp)

■ 日本語版 HP : <http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/26>

■ 英語版 HP : <http://www.jsce-int.org/pub/iacnews>

■ Facebook : (日本語版) <http://www.facebook.com/JSCE.Jp/>

■ (英語版) : <https://www.facebook.com/JSCE.en>